

お客様各位
金融機関各位

改元に伴う申込書類等の取扱いについて

東京信用保証協会

本年5月1日の改元に伴う当協会の申込書類等の取扱いについて、ご留意いただきたい点をとりとめましたので、ご案内いたします。

一部やむをえずお手数をおかけする場合がございますが、ご理解・ご協力くださいますよう、お願い申し上げます。

1 「平成」が記載されている申込書類等の日付の記載方法

金融機関や中小企業の皆さまにご記入いただく信用保証申込書、信用保証依頼書、条件変更申込書その他各種書式には、日付記入欄等に「平成」を使用しているものがあります。これら書式は今後、順次改定することを予定していますが、「平成」の表記のある書式も引き続きご利用いただけます。

改元後の日付を和暦で記入する場合は、「平成」に二重線を引き、新元号「令和」をご記入ください。訂正印は不要です。

なお、改元後、2019年中の和暦については、「令和元年」又は「令和1年」のいずれで記載いただいても差し支えありません。

(例) 2019年5月7日の日付を記入する場合

記入例	備考
令和 平成 元年 5月 7日	<ul style="list-style-type: none">○ 「平成」に二重線を引き「令和」と記入の上、「令和元年」又は「令和1年」と記入してください。○ 訂正印は不要です。

2 当協会が作成する信用保証書、変更保証書等の日付の表記

信用保証書、変更保証書その他当協会が作成し、金融機関や中小企業の皆さまに交付する文書について、改元後の日付を和暦で記載する場合、システム対応等の関係で当面の間は「平成」と「令和」の表記が混在いたします。

この点につきまして、改元後の日付を「平成」で表記した文書であっても（例：平成31年5月7日）、有効なものとしてお取扱いいたしますので、訂正や差替えといった手続は必要ありません。

以上